

現代の若者におけるコミュニケーション

～飲食店から見える遠慮とは～

石山葉月（文教大学情報学部広報学科）

1. はじめに

遠慮とは、「人に対して言語・行動を控えめにする。それとなく断ること。辞退すること。という意味として定義されている。（広辞苑参照）」

私たちがよく使うこの「遠慮」という言葉は、「どうぞ遠慮なさらずに」や「招待を遠慮する」といった言い回しがあるが、特に相手を気遣う文として使われている一方で、「あの人は遠慮がない」や「遠慮の欠片もない」といった控えめではない自分勝手などといった意味でも用いられる。

外国では「遠慮」という言葉としての概念がそもそもないのか、遠慮に似たニュアンスとしての英文法は紹介されているものの、遠慮そのものに筆頭する単語はないので「enryo」とローマ字表記されていることもある。また日本人の特徴というウェブサイトには、外国人から見た日本人としてあげられる特徴がいくつか挙げられていた。日本語はノーとイエスの間に、たくさんの言い回しがあり、とても英語に訳せるような言葉じゃない。だから白黒ハッキリつけるのは苦手であるということ。自己主張が苦手。逆に言うとおくゆかしい」といった形で表現をされている。遠慮」という言葉はまさに日本特有の概念であり、またそれは日本人ならではの“美德”として称賛されているものでもあるのだ。

「今の若者は積極性が足りない」「食欲な人が少ない」というような言葉をよく聞く。その言葉から派生したように生まれた言葉が、“さとり世代”や“ゆとり世代”である。“さとり世代”という言葉が生まれたのは2010年の1月に故・山岡拓氏の著作『欲しがらない若者たち』の中で「今の若者は、車に乗らない、ブランド服も欲しくない、スポーツをしない、酒を飲まない、旅行もしない、恋愛には淡泊だ」指摘するこの本に対し、ある一人が、「さとり世代」と書き込むと、「いい言葉!」「面白いフレーズ」といったリアクションでスレッドが埋め尽くされ、この言葉が拡散していったと浸透をさせた第一人者として原田曜平氏は言う。（クリエイターと読者をつなぐ、ウェブサイト、2013. 11. 6）

世代としては1980年代半ば以降に生まれ、20代とされており上記のように「さとり世代」といフレーズに対

して大した給料もない若いうちに、高いワインを飲んでいたバブル期の若者の方がおかしい。僕らは暗い時代に生きてきたから、さどってしまっただけなんだ!」という批判的な声もある。（2015/05/13 日経産業新聞）

“ゆとり世代”はよく聞く言葉であり、私自身も“ゆとり世代”の1人であるともいえる。小中学校における学習指導要領の改定が2002年度から施行されたのをきっかけに“ゆとり世代”という名前がつけられた。こちらの対象世代も1987年4月から2004年3月生まれのもちらも“さとり世代”同様の20代の若者を指すこと言葉として取り上げられている。“ゆとり世代”の特徴として挙げられるのが、1. 失敗を極端に恐れ、間違いのない答えを求める 2. 自分から動き出せない 3. まじめで言われたことはきちんとやる 4. ある一面では非常に優秀な能力を持っているといった特徴が挙げられるという。（日経アカデミー、ウェブサイト）

この言葉は多くのメディア等でも取り上げられ現代の若者の特徴を捉えた代表的な言葉であり、世の中に浸透している。

しかし一方では、「ずうずうしい若者が多い」とも言われ、自分の全てを受け入れてほしい、自己肯定感は強いが自信はない、頑張りたくないけど幸せになりたいという特徴が挙げられている。（Livedoor NEWS ウェブサイト、2015）

では、一体現代の若者とはどのような特徴を持っているのかと疑問に思ったことがこの調査のきっかけである。私自身、普段の生活を通じて、現代の若者は、自分の意見を言うこと少ない、はっきり物事を言ったり、曖昧にすることが多い、周りの空気を察する力が非常にあるという考えであった。例えば図のように（次ページ参照）飲食店に行ったりする際に食事が最後の1つになった時に誰も手を出さない・手を出せないあの空気間は、まさに“遠慮”そのものであるのではないだろうか。

本研究では、このようにメディア等でも“さとり世代”“ゆとり世代”と言われているように「現代の若者は遠慮がちである」というもと、遠慮が発生するであろう飲食店に焦点を当て調査をし、若者はどのような特徴を持ち、また若者のパーソナルによって遠慮行動を引き起こすのかを明らかにするのがこの本調査の目的である。

写真：最後の1つで遠慮行動が起こっている様子



2. 調査研究の方法

2-1. 進捗経緯

- 4月～5月 : 事前学習
- 6月～8月 : 調査テーマ討論・決定
- 9月～11月 : 質問文・調査票作成
- 12月 : 調査実施・単純集計
- 1月 : 報告書作成

2-2. 調査概要

2-2-1. 調査の意図・仮説

- ・飲食店における行動
食事をとる相手や人数によって飲食店でのとるであろう行動は変わるのか。相手が年上で、人数が少ないほど遠慮が発生するのではないかと。
- ・回答者自身の「遠慮」概念に関する考え
日本人が遠慮することに肯定的で外国人が遠慮という概念を持つべきだと考えるひとは遠慮をする傾向にあるのではないかと。
- ・回答者自身のパーソナルについて
他者への配慮型タイプ・自己に向けられた配慮型タイプ・状況評価への配慮型の3つのタイプに対応する質問項目を設けタイプ別に分ける。遠慮をする人が多いという仮説から他者への配慮型タイプが多いのではないかと。
- ・日常生活における遠慮行動について
日常生活において遠慮行動を起こすのか、また過去に遠慮行動をしたことがあるのか、他者に遠慮行動をされた時どう感じるのか。過去に遠慮行動をしたとがある人、他者が遠慮行動したことで肯定的である程遠慮をしやすい人ではないかと。

2-2-2. 調査対象者と方法

調査時期

2015年12月10日、12月14日

調査場所

文教大学湘南キャンパスで開講されている「インタラクティブメディア論」「リサーチデータのリテラシー」の講義

依頼枚数と回答数

有効回答数：114枚

調査主体

文教大学情報学部広報学科3年石山葉月

調査方法

質問紙による自記式のアンケートを行い授業内で有意抽出による集合調査を行った。

質問項目

- ・飲食店における行動
- ・回答者自身における「遠慮」に関する考え
- ・回答者自身におけるパーソナルについて
- ・日常生活における遠慮行動について

3. 調査研究の成果

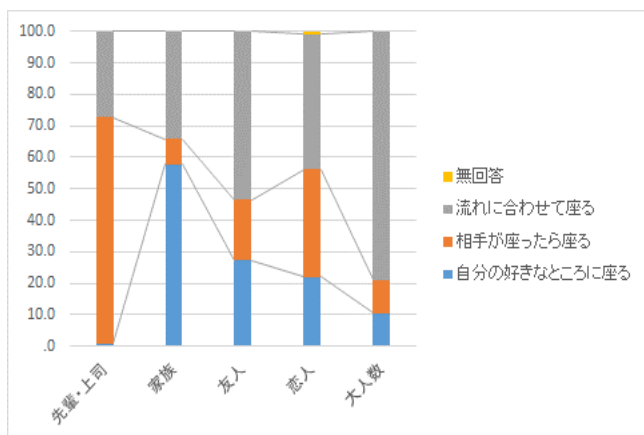
回答者の内訳として「男性」が51.8%、「女性」が48.2%となっている。学年は「1年生」17.5%、「2年生」60.5%、「3年生」19.3%、「4年生」2.6%となった。出身地は日本を5つに分けた結果、「北海道地方」1.8%、「東北地方」7.9%、「関東地方」66.7%、「中部地方」15.8%、「近畿地方」0.9%、「中国地方」2.6%、「九州・沖縄地方」4.4%となり、調査地が関東（神奈川県）であったため、関東地方が多いという結果になっている。また、出身地と飲食店における行動に差が見られるかどうかカイ二乗検定を行ったところ、どの項目に対しても有意な差は見られなかった。このことより、出身地が遠慮行動とは関連ないということが分かった。

飲食店の頻度については、「月に1～3回」28.1%、「週に1～3回」60.5%、「週に4～6回」7.0%、「ほぼ毎日」2.6%、「全く行かない」1.8%となり、ほとんどの人が飲食店を利用しているということが言える。飲食店を利用するのにあたり、誰とよく行くのかという調査では、「同年・同級生」78.2%、「先輩・上司」26.3%、「異性」21.9%ということも分かった。

I. 飲食店における行動～飲食店行動～

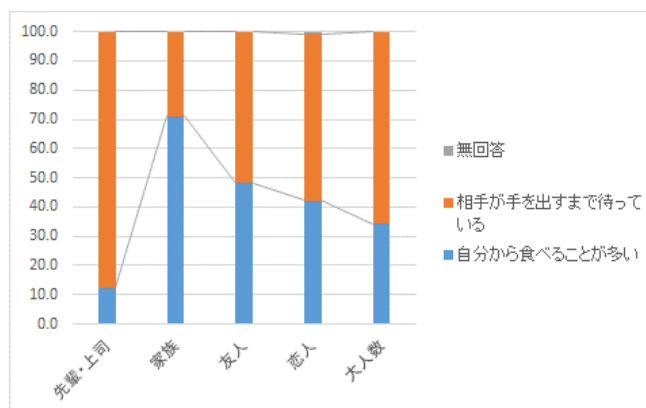
まず初めに飲食店での行動についての調べるため、入店して着席する際に「自分の好きな場所に座る」、「相手が座ったから座る」、「流れに合わせて座る」の選択肢を設け、「先輩・上司」、「家族」、「親しい友人」、「恋人」、「サークルなどの大人数」ここで言う大人数は5人以上であると設定し、ここからは大人数で表記をしていく) の場合で調査をした。その結果が図 1-1 である。相手は「先輩・上司」の場合、「自分の好きな場所に座る」と答えた人が 0.9%、「流れに合わせて座る」が 27.2%、「相手が座ってから座る」と答えた人が 71.9%という結果になった。自分の好きな場所に座る」と答えた人がわずか 0.9%であり、「先輩や上司」には遠慮行動が非常によく見られるということが分かった。相手が「家族」の場合、「自分の好きな場所に座る」が 57.9%、「流れに合わせて座る」が 34.2%、「相手が座ってから座る」と答えた人が 7.9%という結果になった。このことから家族といった身内には遠慮行動が見られないということがうかがえる。また、相手は「友人」「恋人」「大人数」の時にはそれぞれに違いがあるものの流れに合わせて座ると答えた割合は最も多いことが分かった。

図 1-1. 入店してからの席順 N=114



次に最初の運ばれてきた食事をどうすることが多いかについて聞いた結果が図 1-2 である。相手が「先輩・上司」の場合相手が手を出すまで待っていると答えた人が 87.7%、「自分から食べることも多い」と答えた人が 12.3%でこちらも「先輩・上司」には、相手が「家族」や「友人」「恋人」「大人数」の時に比べて遠慮行動がみられることが分かった。

図 1-2. 最初に運ばれてきた食事の対応 N=114

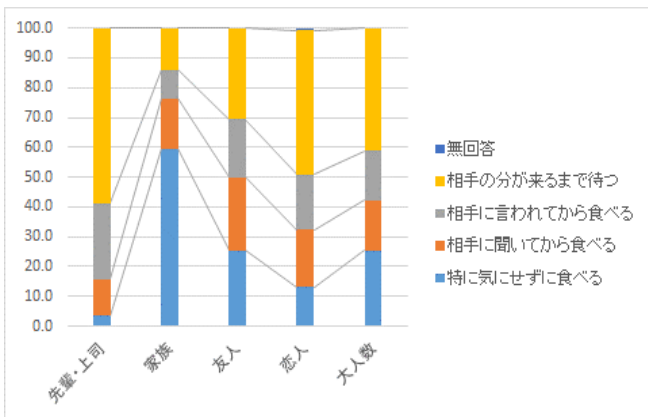


次に相手とは別々に自分の食事の方が早く運ばれてきたらどのような行動をするかを調べた。「特に気にせず食べる」「相手に聞いてから食べる」、「相手に言われてから食べる、相手の分が来るまで待つ」の 4 つの選択肢を設けた。結果が図 1-3 である。

相手が「先輩・上司」の場合、「特に気にせず食べる」が 3.5%、「相手に聞いてから食べる」が 12.3%、「相手に言われてから食べる」が 25.4%、「相手の分が来るまで待つ」が 58.8%という結果になり、「相手の分が来るまで待つ」と答える人が約 6 割だった。

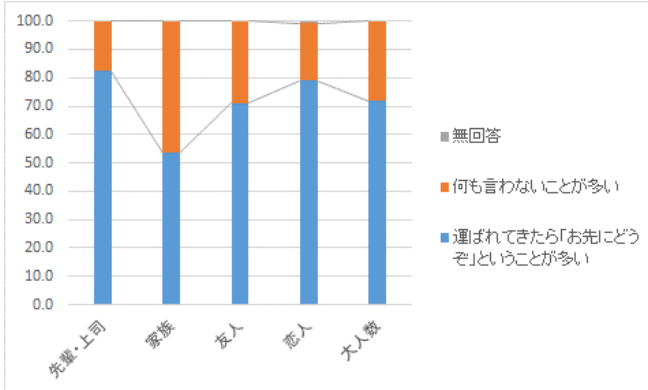
また、家族以外の相手(友人・恋人・大人数)はいずれも「相手の分が来るまで待つ」と答えた人の割合が多かったものの、「友人」「大人数」の場合は、「特に気にせず食べる」とか共に 25.4%、「相手に聞いてから食べる」が順に 24.6%、16.7%、「相手に言われてから食べる」が 19.3%、16.7%、「相手の分が来るまで待つ」が、30.7%、41.2%で、大きな違いがみられることがなく類似した結果になった。相手が「恋人」の場合、「相手の分が来るまで待つ」と答えた人が 48.2%となり、「先輩・上司」の場合と同様に遠慮行動がみられるということが言える。

図 1-3. 自分の食事が早く来た時の対応 N=114



次に相手とは別々に相手の食事の方が早く運ばれてきたらどのような行動をするのかについて、運ばれてきたら「お先にどうぞ」ということが多い、「何も言わないことが多い」の2つの選択肢に分けた結果が図 1-4 である。相手が家族以外（先輩・上司、友人、恋人、大人数）の場合、70.0%以上運ばれてきたら「お先にどうぞ」ということ多いと答え、どの相手でも言うことがわかる。

図 1-4. 相手の食事が早く来た時の対応 N=114

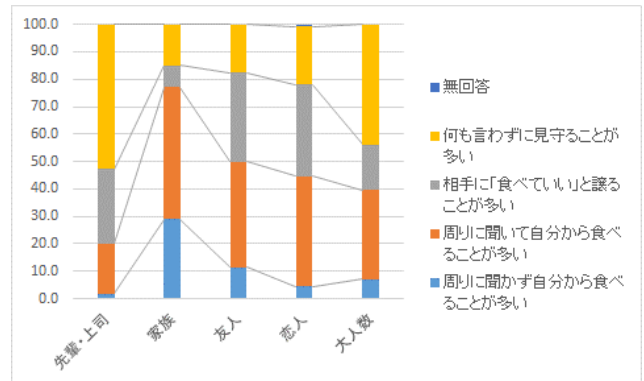


次に最後の1つになったものに対してどのような行動をすることが多いのかを調査した。その結果が図 1-5 である。「先輩・上司」の場合「周りに聞かずに自分から食べることが多い」が1.8%、「周りに聞いて自分から食べる」が18.4%、相手に「食べてもいい」と譲ることが多いが27.2%、「何も言わずに見守ることが多い」が52.6%という結果になった。「家族」の場合、「周りに聞かずに食べるが多い」が28.9%で、「周りに聞いて自分から食べるが多い」が48.2%という結果になり、家族であっても聞いてから食べるという人が多いということが分かった。

「大人数」の場合、こちらも先輩・上司の時と同じ「何も

言わずに食べる」が一番多く 43.9%という結果になり、大人数になればなるほど遠慮行動が見られる可能性が高いことが分かる。

図 1-5. 最後の1つになった時の対応 N=114



I. 飲食店における行動～飲食店行動と性別のグラフ～

図 1-6. 入店してからの席順（友人）と性別

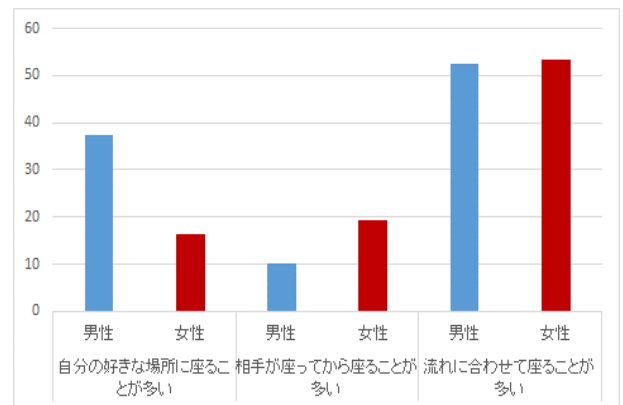


図 1-7. 入店してからの席順（恋人）と性別

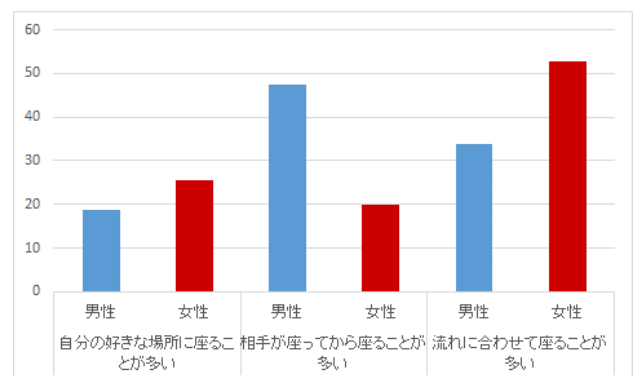


図 1-8. 最初に運ばれてきた食事の対応 (友人) と性別

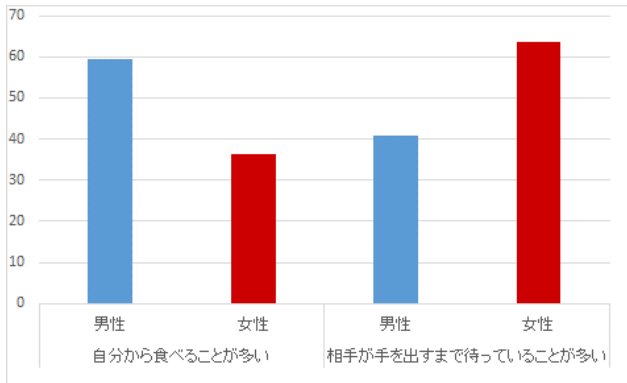


図 1-11. 自分の食事が早く来た時の対応 (家族) と性別

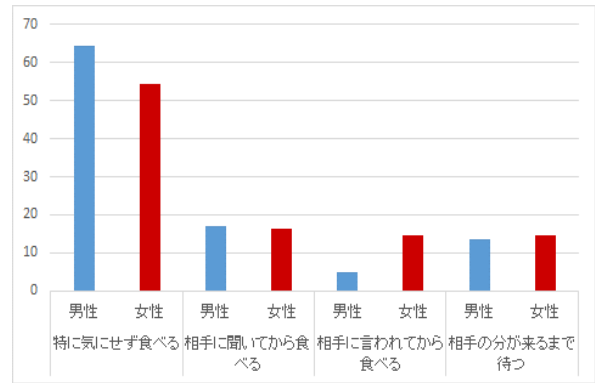


図 1-9. 最初に運ばれてきた食事の対応 (大人数) と性別

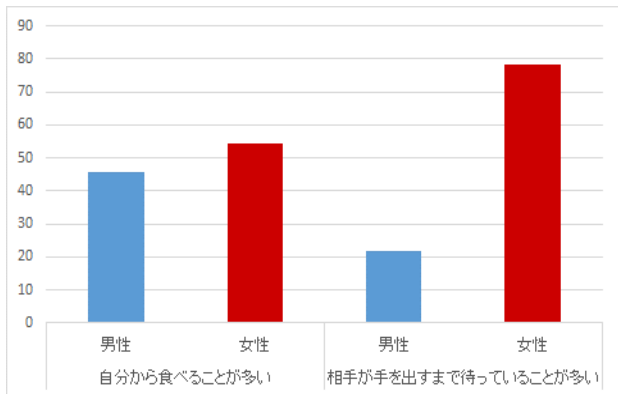


図 1-12. 相手の食事が早く運ばれてきた時の対応 (先輩・上司) と性別

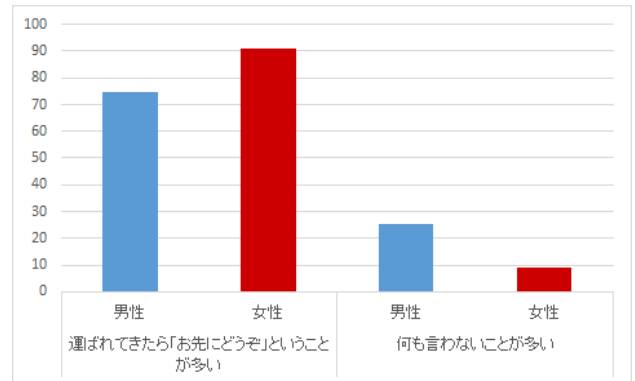


図 1-10. 自分の食事が早く来た時の対応 (先輩・上司) と性別

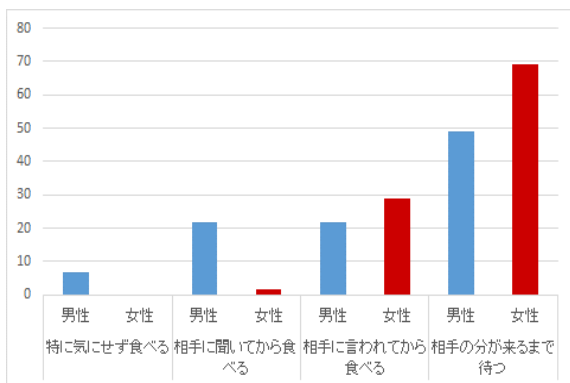


図 1-13. 相手の食事が早く運ばれてきた時の対応 (友人) と性別

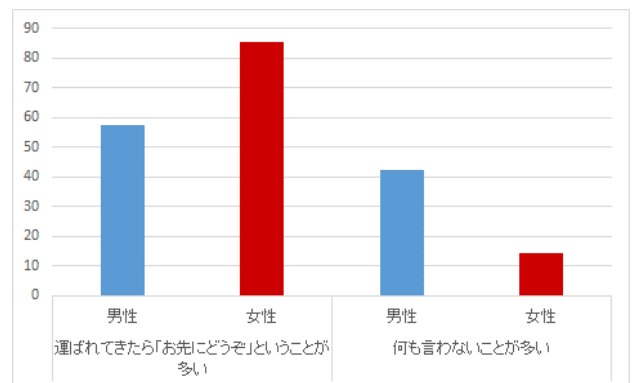


図1-14. 相手の食事が早く運ばれてきた時の対応(大人数)と性別

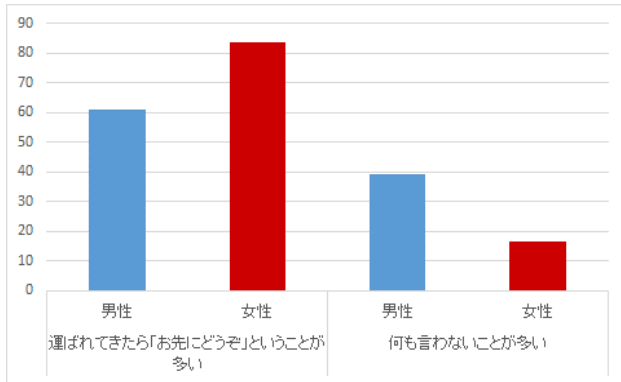


図1-17. 最後の1つになった時に対応(大人数)と性別

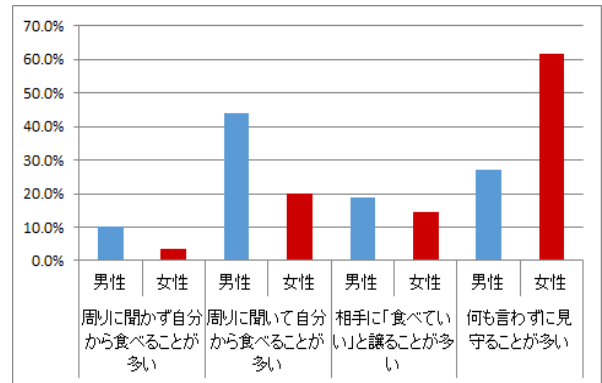
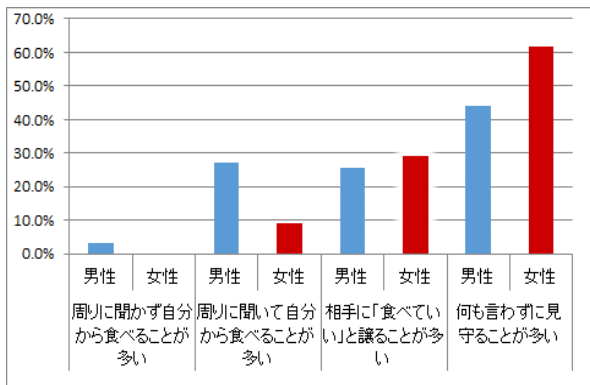


図1-15. 最後の1つになった時に対応(先輩・上司)と性別



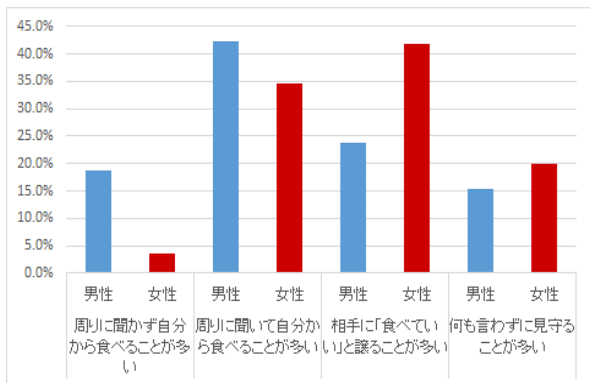
I. 飲食店における行動～飲食店行動と性別のグラフ結果

「入店をしてからの席順と性別の差」がみられるかどうかを検定するためにカイ二乗検定を行った。その結果、相手が「友人」の場合1%水準で有意な差が見られ、相手が「恋人」の場合5%水準で有意な差が見られた。

$(X^2(2)=9.885, p<.01)$ $(X^2(2)=9.220, p<.05)$

図1-6と図1-7で示されているように、入店してから座るときに、相手が「友人」の場合、男女共に、流れに合わせて座ると答えた人が順に52.5%・54.5%と多い結果になった。相手が「恋人」に場合、男性は47.5%が相手に合わせて座ることが多いと答え、女性は流れに合わせて座ると答えた人が52.7%と多いことが分かった。

図1-16. 最後の1つになった時に対応(友人)と性別



「最初に運ばれてきた食事と性別の差」がみられるかどうかを検定するためにカイ二乗検定を行った。その結果、相手が「友人」の場合5%水準で有意な差が見られ、相手が「大人数」の場合1%水準で有意な差が見られた。

$(X^2(1)=6.009, p<.05)$ $(X^2(1)=7.251, p<.01)$

図1-8と図1-9で示されているように、最初に運ばれてきた食事に対してどのような行動をとることが多いかで、相手が「友人」「大人数」の場合の共に、男性は自分から食べるが順に59.3%・45.8%女性の36.4%・21.8%より多く、女性は相手から手を出すまで待っているが63.6%・78.2%で男性は40.7%・54.2%ということが分かった。

「相手とは別々に自分の食事の方が早く運ばれてきた時の対応と性別の差」がみられるかどうかを検定するためにカイ二乗検定を行った。その結果、相手が「先輩・上司」の場合と「家族」の場合1%水準で有意な差が見られた。 $(X^2(3)=15.684, p<.01)$ $(X^2(3)=14.170, p<.01)$

図 1-10 と図 1-11 で示されているように、相手とは別々に自分の食事の方が早く運ばれてきた時の行動で、相手が「先輩・上司」の場合、男女共に、相手の分が来るまで待つと答えた割合が 49.2%、69.1%と多いことが分かった。相手が「家族」の場合だと、男女共に、特に気にせず食べると答えた人が 64.4%、54.5%と相手が「先輩・上司」の場合とは異なる結果になった。

「相手とは別々に相手の食事の方が早く運ばれてきた時の対応と性別の差」がみられるかどうかを検定するためにカイ二乗検定を行った。その結果、相手が「先輩・上司」の場合5%水準で有意な差が見られ、相手が「友人」「大人数」の場合1%水準で有意な差が見られた。 $(X^2(1)=5.249, p<.05)$ $(X^2(1)=10.717, p<.01)$ $(X^2(1)=7.213, p<.01)$

図 1-12、図 1-13、図 1-14 で示されているように、どの相手であろうとも男性、女性共に運ばれてきたら「お先にどうぞ」ということが多いと答えた人が多かった。

「最後の1つになった時に対応と性別の差」がみられるかどうかを検定するためにカイ二乗検定を行った。その結果、相手が「先輩・上司」の場合と「友人」の場合5%水準が見られ、「大人数」の場合に1%水準で有意な差が見られた。 $(X^2(3)=8.731, p<.05)$ $(X^2(3)=9.309, p<.05)$ $(X^2(3)=14.913, p<.01)$

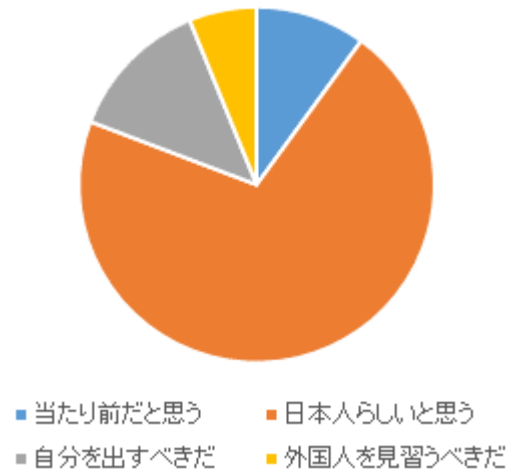
図 1-15、1-16、1-17 で示されているように、相手が「先輩・上司」の場合、男性・女性共に、見守ることが多いと答えた人が多く、男性は44.1%で女性は61.8%で女性の方が男性よりも割合が多かった。相手が「友人」の場合、男性は周りに聞いてから食べるが42.4%で、女性は相手に食べていいと譲る41.8%でそれぞれ多かったことが分かった。相手が「大人数」の時、男性は周りに聞いてから食べるが44.1%で、女性は61.8%と男女に違いがみられた。

II 回答者自身における「遠慮」に関する考え

日本人が遠慮をすることについてどう思うかについて、当たり前だと思う、「日本人らしいと思う」、「自分を出す

べきだ」、「外国人を見習うべきだ」の4つを複数回答で回答してもらったところ次のような結果になった。

図 2-1. 日本人の遠慮について

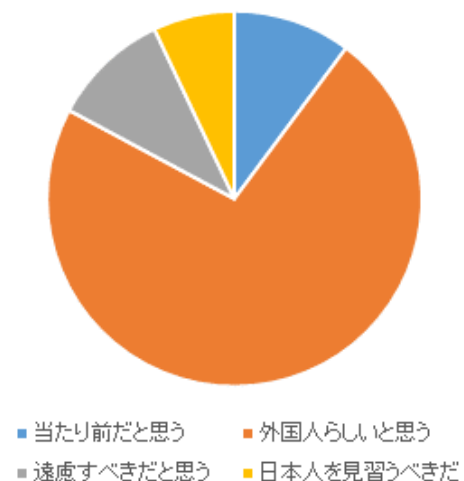


「日本人らしいと思う」と答えた人が80.7%、その次に多かったのが「自分を出すべきだ」で14.9%、「当たり前だと思う」が11.4%で、「外国人を見習うべきだ」と答えた人はわずか7.0%だった。

このことより、「遠慮」に対して若者は「日本人らしい」と感じている人が多く、それが美德であると感じている人が多いことが言える。

次に、外国には遠慮という概念がないことについてどう思うか、「当たり前だと思う」、「外国人らしいと思う」、「遠慮をすべきであると思う」、「日本人を見習うべきだと思う」の4つを複数回答で回答してもらったところ、次のような結果になった。

図 2-2. 外国の遠慮概念がないことについて



一番多かったのが、「外国人らしいと思う」と答えた人が83.0%、「当たり前だと思う」「遠慮すべきだと思う」が共に11.6%、「日本人を見習うべきだ」が8.0%という結果になった。

このことより、遠慮の概念がないことについて多くの人は、遠慮という概念がないことについて異文化として捉えている人が多いのではないかといえる。

Ⅲ. 回答者自身のパーソナリティについて

人は人間関係を築き上げる・維持をするにあたり、それに基づいて「情報処理過程」、いわばその人に対してどのように接すればいいのかを考える。

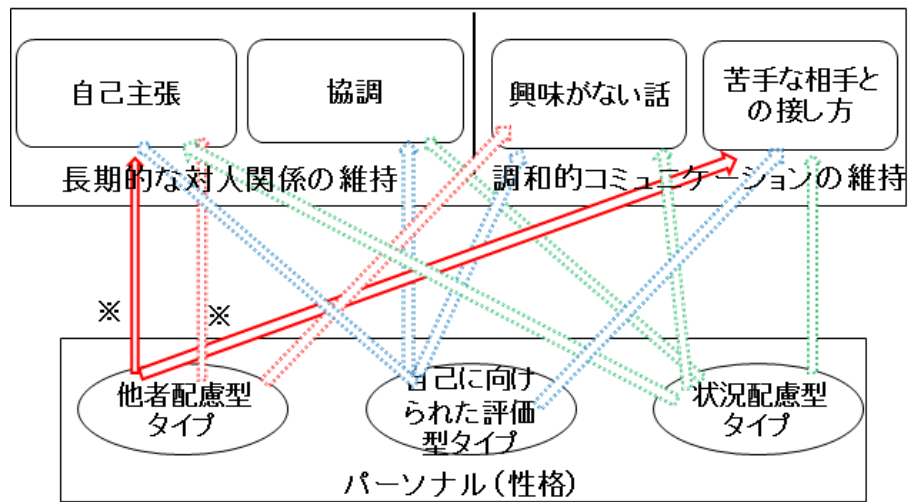
そこを経て、メッセージを曖昧化したり、減量化したりするという行動、「遠慮行動」が行われている。今回、パーソナルについてはその「情報処理過程」の中で行われるタイプに分けた。それが、①他者に対する遠慮行動が強い「他者配慮型タイプ」、②他者からの自分に対する評価が大切だと考える「自己に向けられる評価への配慮タイプ」、③その場の空気や状況によって行動を変える「状況型配慮タイプ」の3つで、各タイプに3つずつ設問を用意し、点数化した。「他人の顔を窺う方だ」「相手に言いにくいことでも率直に伝える方だ」「会話中の沈黙は気まずいから好きではない」の3つが「他者配慮型タイプ」に相当するもので、「自分が人から嫌われたくないと思う」「自分に対する他者からの評価が気になる方だ」「自分の行動や言動が相手に失礼ではないか考える方だ」の3つが「自己評価型タイプ」にあたり、「相手によって自分の態度や立場を変えることができる」「その場の空気を読むことができる」「何かあっても臨機応変に対応することができる方だ」の3つが「状況が配慮型タイプ」に分類をした。点数が高ければ高いほど、そのタイプに属する。また、点数化した中で3グループに分割をし、その中で合計値が高い各タイプの上位者(他者配慮上位者・自己評価上位者・状況配慮上位者)を決め、遠慮行動は異なるのかどうかを調査した。日常における遠慮行動として挙げたのが、「長期的な対人関係の維持」と「調和的コミュニケーションの維持」と大きく2つに分け、更にその2つの中から2問ずつ普段の生活において状況を想定した設問を設けた。長期的な対人関係の維持では、対人関係が壊れる可能性が

ある中での自己主張の有無と反対意見を持っている中での他者への協調、調和的コミュニケーションの維持ではつまらない話を続ける相手に対する反応、自分が嫌いだと思う人に対して本心を告げるかどうかに分けた。(図3-1)

回答者自身のパーソナルの各タイプの上位者と日常における遠慮行動に差がみられるかどうかを検定するために、カイ二乗検定を行った。その結果、他者配慮型タイプ上位者と自己主張の有無と、嫌いな相手といる時に自分の本心を伝えるかどうかの共に1%水準の有意な差が見られた。

($X^2(1)=7.707, p<.01$) ($X^2(1)=9.441, p<.01$)

図3-1. 各タイプ上位者と遠慮行動の関係性



※印・実線は有意な差が見られた箇所

このことより、パーソナルは遠慮行動に関係があることが分かる。また他者に対する遠慮行動が強い「他者配慮型タイプ」にのみ遠慮行動の有意差が見られ尚且つ、4つ挙げた状況想定遠慮行動の中でも、「対人関係が壊れる可能性がある場合の自己主張」と「嫌いな相手に対する対応」の“相手”と必ず関係がある状況の場合に有意な差が見られていることより、「他者配慮型タイプ」は、“相手”に関連する状況において、顕著に遠慮行動を行うということが言えるのではないか。その他の各タイプの値は以下の表のとおりである。

表3-1. 他者への配慮型タイプ上位者と日常遠慮行動

	自己主張	つまらない話	協調	嫌いな相手
t値	7.707	0.071	1.755	9.441
自由度	1	1	1	1
有意	0.006※	0.79	0.185	0.002※

表 3-2. 自己に向けられる評価型タイプ上位者日常遠慮行動

	自己主張	つまらない話	協調	嫌いな相手
t値	0.479	0.637	0.189	1.816
自由度	1	1	1	1
有意	0.489	0.425	0.664	0.178

表 3-3. 状況型配慮型タイプ上位者と日常遠慮行動

	自己主張	つまらない話	協調	嫌いな相手
t値	2.329	1.521	0.012	0.149
自由度	1	1	1	1
有意	0.127	0.218	0.913	0.639

さらに、日常における遠慮行動の性格尺度として、回答者のパーソナル関係性を見るために、回答者自身のパーソナルよりもさらに細かく他者配慮型、自己評価型、状況配慮型タイプの行動別に分けて、日常においての遠慮行動の性格とパーソナルによる関連性を調査した。他者配慮型には「相手を傷つけてしまう可能性」「言いにくい相手」の2つを挙げ、自己評価型には「相手によく思われたい」「人間関係を壊したくない」「争いをしたくない」の3つを挙げ、状況型には「空気を察する」「はっきりさせることで責任を負いかねる可能性はある」の2つに分けた。

各タイプと日常における遠慮行動による性格尺度に差が見られるかどうかを検定するために、対応のないt検定を行った。その結果、各タイプすべてに有意な差が見られた。

(図 3-2)

このことより、パーソナルは日常の遠慮行動において非常に関係性が強いということがいえる。他者配慮型タイプは日常のどの行動においても相手に対する配慮、相手を傷つけない、言いにくい相手だから行動をしないと考え、自己評価型タイプも日常のどの行動においても人間関係を壊したくないゆえに、争いや人間関係が壊れるのを避ける。状況配慮型タイプは興味がない話を聞くという行動場面で有意な差が見られた。自己主張をするや協調をするや苦手な相手との接し方と比べ、興味がない話を聞くと

いう場面は、その場での行動が問われる場面であるので、よりこの状況配慮型タイプに有意な差が見られたのではないかと考える。各タイプの値は以下表の通りである。

表 3-4. 他者配慮型タイプと日常における性格尺度 (他者配慮型タイプ)

	自己主張	つまらない話	協調	嫌いな相手
t値	4.069	2.441	4.481	2.798
自由度	100	109	108	109
有意確率	0.000*	0.016*	0.000*	0.006*

表 3-5. 自己評価型タイプと日常における性格尺度 (自己評価型タイプ)

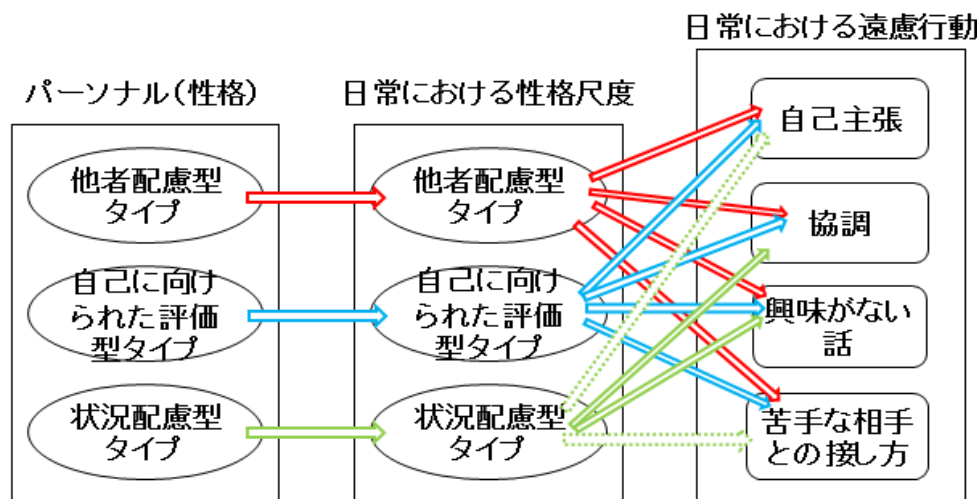
	自己主張	つまらない話	協調	嫌いな相手
t値	4.198	4.136	3.651	3.084
自由度	96	72	75	87
有意確率	0.000*	0.000*	0.000*	0.003*

表 3-6. 状況配慮型タイプと日常における性格尺度 (状況配慮型タイプ)

	自己主張	つまらない話	協調	嫌いな相手
t値	0.96	1.95	1.901	1.375
自由度	110	89	110	110
有意確率	0.339	0.047*	0.06	0.172

図 3-2. 各タイプと日常における性格尺度の関係

※ 実線は有意な差が見ら



IV日常生活における遠慮行動について

次に、過去に自己主張をしてトラブルの有無と日常における遠慮行動による性格尺度と検定を行った所、「相手を傷つけてしまう可能性があるから、自己主張をしないと思う」(F(3.261) df=112,p<.05)「争いをしたくないから、自己主張をしないと思う」(F(3.324) df=112,p<.05)「はっきりさせることで責任を負いかねる可能性があるから、自己主張をしないと思う」(F(3.283) df=112,p<.05)の3つに5%水準で有意な差がみられた。過去に自己主張をしてトラブルになった経験がない人ほど自己主張をしない人が多い。このことより、過去に自己主張をしてトラブルになった経験がない人は、人との争いをしたくない願望が強いのではないかとと言える。

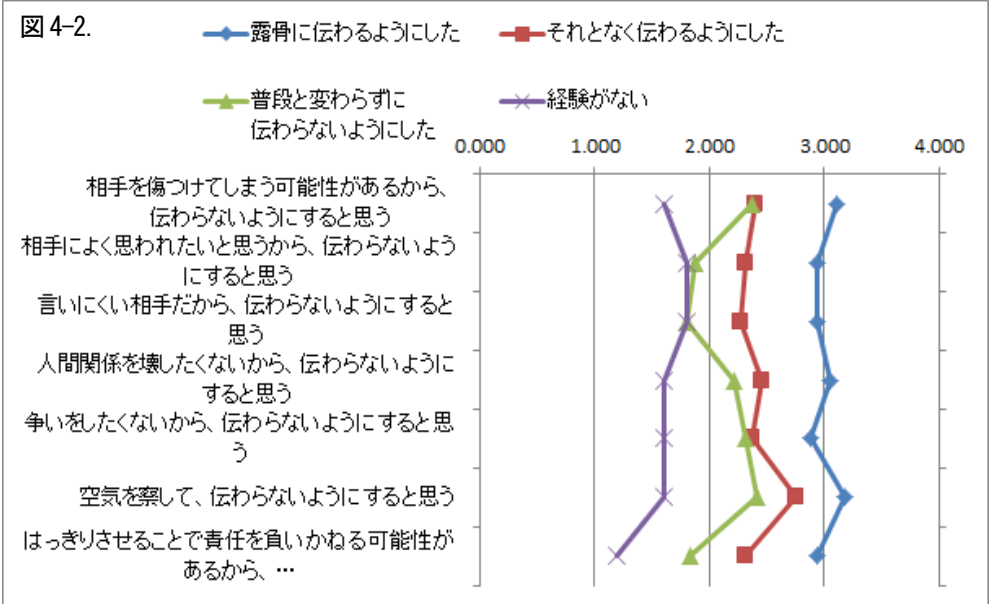
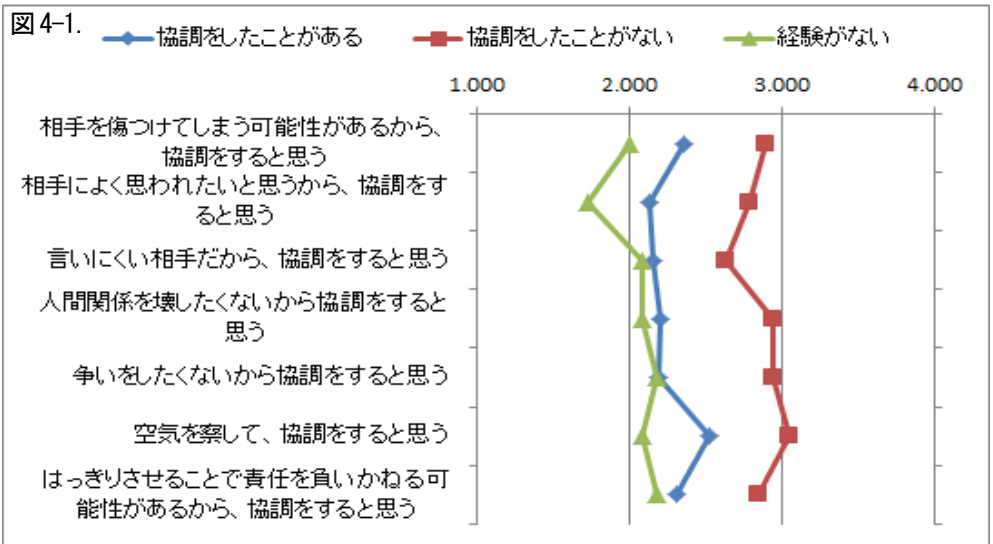
次に、過去に興味がないので相手の話を聞いた経験があるかどうかの有無と日常における性格尺度で検定を行った所、「人間関係を壊したくないから、興味深く聞くと思う」(F(4.164) df=111,p<.05)に5%水準で有意な差が見られた。過去に興味がない話を聞いたことがない人は、人間関係が壊わしたくないからという理由で、話を聞くわけではないことが分かった。

次に、過去に反対意見を持っているのに他人に協調をしたことの有無と日常における遠慮行動について検定を行った所、「相手によく思われたいから、協調すると思う」(F(3.976) df=110,p<.05)「言いにくい相手だから、協調すると思う」(F(4.634) df=109,p<.05)「人間関係を壊したくないから、協調すると思う」(F(4.384) df=110,p<.05)「空気を察して、協調すると思う」(F(5.838) df=110,p<.01)「はっきりさせることで責任を負いかねる可能性があるから、協調すると思う」(F(3.082)df=110,p<.05)の5つに5%水準、1%水準がそ

れぞれみられた。

過去に他人に協調をしたことがないと答えた人ほど、協調をしないということが分かった。このことより、その場の空気や状況が協調をする雰囲気であっても他人に協調をするという考えが低く、また相手を傷つけることに抵抗感もあまりなく、自分にとって不利な立場になろうとも他人に協調をしないのではないかとということがいえる。

次に、過去に嫌いな相手と付き合うときに自分の本心を相手にどのように伝えるかについてと日常における性格尺度で検定を行った所、「相手を傷つけてしまう可能性があるから、伝わらないようにすると思う」(F(7.485)df=110,p<.01)「相手によく思われたいから、伝わらないようにすると思う」(F(4.275) df=110,p<.01)「人間関係を壊したくないから、伝わらないようにすると思う」(F(3.661) df=110,p<.05)「争いをしたくないから、伝わらないようにすると思う」(F(5.723) df=109,p<.01)



「空気を察して、伝わらないようにすると思う」
(F(5.520) df=110, p<.01) 「はっきりさせることで責任を負いかねる可能性があるから、伝わらないようにすると思う」(F(4.228) df=110, p<.01)の6つに5%水準1%水準がそれぞれみられた。

過去に嫌いな相手と付き合うときに自分の本心を露骨に伝わるようにしたことがあると答えた人は、嫌いな相手に対して、本心が伝わってもいいと考えている人が多いことが分かった。また、それとなく伝わるようにしたことがある、普段と変わらずに伝わらないようにしたことがある、経験がないと相手に遠慮をすればするほど、相手に対して本心が伝わらなければいいと考えている人が多いことも分かり、過去の経験により、相手に対する遠慮行動が大きく異なるということが言える。

4. 考察

本研究の目的は、遠慮行動が起こるであろう飲食店に焦点を当てて調査をし、それに加えて若者はどのような特徴を持ち、また若者のパーソナルによって遠慮行動を引き起こすのかを明らかにするのかを考察することであった。まず、飲食店での遠慮行動について多くの場面においても男女共に遠慮行動を引き起こすものの、男性よりも女性の方がより相手に対して遠慮をするということも分かった。また、人数や場面間では大きな差が見られることはなく、あくまでも年齢や立場が自分より年上になればなるほど、そしてあまり親しい間柄でない関係性だと遠慮行動が働くということが分かった。

そして、若者は「遠慮」という言葉に対して特にマイナスイメージを持っていることもなく、むしろ「遠慮」の感情こそが日本人らしさというものに誇りを感じている人が多いということも分かる。また外国に遠慮の概念がなくともそれもまた外国らしいという考え方で、日本と外国の間に一線引いている考え方の人が多いといえるのではないだろうか。

そして遠慮を引き起こす要因としてパーソナル・性格が非常に関連するものだという事も分かり、中でも他人に対して配慮するタイプの人達は、非常に遠慮行動を引き起こしやすいということが言える。それに伴い、日常における遠慮行動において全体的に人との衝突を避ける傾向があるが、中でも特に過去の経験の有無が大きく左右し、遠慮行動に関係するということが分かった。

結果として現代の若者が遠慮行動を引き起こす要因として自分の立場や状況よりも相手に対する配慮を考慮する者が多く、人に対する気遣いができるとも言えるが、相手に

気を使いすぎる面もあるのではないかと考える。

参考文献

- 石黒武人(2006)
多文化関係における日本的コミュニケーションの可能性：「察し」に内蔵された肯定的側面
- 小山慎治・池田裕(2011)
「遠慮・察しコミュニケーション尺度」の作成-予備調査による尺度の改訂-
- 小倉加奈子・田中唯太・西本一志(2012)
大皿料理における取り分け行動の時系列の試み：「遠慮のかたまり」現象の解明を目指して
- 小山慎治・池田裕(2014)
日本人と韓国人の対人関係観の違い-「遠慮・察しコミュニケーションの」枠組みから-
- 「ゆとり世代」とくくられることについてどう思う？20代に聞いてみた
<http://nikkan-spa.jp/816181>
2016年2月3日閲覧
- 外国人が語る！日本人の良い所！悪い所！
<http://matome.naver.jp/odai/2137396243489378401>
2016年2月4日閲覧
- ゆとり世代がやってくる
<http://www.nikkeibp.co.jp/article/nba/20080326/151311/?ST=career&P=3&rt=ocnt>
2016年2月5日閲覧
- 【第1回】さとり世代とは？
<https://cakes.mu/posts/33>

現代の若者のコミュニケーションに関するアンケート

2015年12月

調査項目作成・実施
文教大学情報学部広報学科
「社会調査Ⅲ」
調査員氏名：石山葉月
担当教員：日吉昭彦

【ご記入にあたってのお願い】

1. 本調査は現代の若者のコミュニケーションを調べることを目的としています。
2. 調査票には、必ず調査票を受け取ったご本人がご回答・ご記入ください。
3. 該当する質問には、すべてお答えください。
4. アンケートの結果は、表やグラフの形で数値として表現しますので、他の方が集計結果を見たときに特定の個人がどのような回答をしたのか分かることはありません。どうぞありのままをお答えください。
5. お答えは、それぞれの問いの指示に従って、あてはまる番号に○をつけるか、文字や数字を記入して下さい。問いの番号にそってお答えください。
6. ご記入は、黒の筆記用具でお願いいたします。黒であれば、ボールペンでも鉛筆でもかまいません。
7. 設問の内容など、不明な点がありましたら、近くの調査担当者にお尋ねください。

問 1.指示をしますで見ながら回答をしてください。

※ここで指す「少人数」は2人～5人以下、「大人数」6人以上を指すこととします。
できるだけ普段から関わりのある人を想起して答えてください。

問 1-1.あなたが入店して着席する時に、どのような行動をすることが多いですか。それぞれ当てはまる番号を記入してください。

- 1.自分の好きな場所に座ることが多い
- 2.相手が座ってから座ることが多い
- 3.流れに合わせて座ることが多い

(先輩や上司の場合)A72.9	(家族の場合)A57.9
(親しい友人の場合)A53.5	(恋人の場合)A43.0
(サークルなどの大人数の場合)A78.9	

問 1-2. あなたは最初に運ばれてきた食事を、どのようにすることが多いですか。それぞれ当てはまる番号を記入してください。

- 1.自分から食べる人が多い
- 2.相手が手を出すまで待っていることが多い

(先輩や上司の場合)A87.7	(家族の場合)A71.7
(親しい友人の場合)A51.8	(恋人の場合)A57.0
(サークルなどの大人数の場合)A65.8	

問 1-3. あなたは相手とは別々に自分の食事の方が早く運ばれてきたら、どのような行動をすることが多いですか。それぞれ当てはまる番号を記入してください。

- 1.特に気にせず食べる
- 2.相手に聞いてから食べる
- 3.相手に言われてから食べる
- 4.相手の分が来るまで待つ

(先輩や上司の場合)A58.8	(家族の場合)A59.6
(親しい友人の場合)A30.7	(恋人の場合)A48.2
(サークルなどの大人数の場合)A41.2	

問 1-4. あなたは、相手とは別々に相手の食事の方が早く運ばれて来たら、どのような行動をすることが多いですか。それぞれ当てはまる番号を記入してください。

- 1.運ばれてきたら「お先にどうぞ」ということが多い
- 2.何も言わないことが多い

(先輩や上司の場合)A82.5	(家族の場合)A53.5
(親しい友人の場合)A71.1	(恋人の場合)A78.9
(サークルなどの大人数の場合)A71.9	

問 1-5. あなたは、最後の一つになったものに対してどのような行動をすることが多いですか。それぞれ当てはまる番号を記入してください。

- 1.周りに聞かずに自分から食べることが多い
- 2.周りに聞いて自分から食べる人が多い
- 3.相手に「食べていい」と譲ることが多い
- 4.何も言わずに見守ることが多い

(先輩や上司の場合)A52.6	(家族の場合)A48.2
(親しい友人の場合)A38.6	(恋人の場合)A33.3
(サークルなどの大人数の場合)A32.5	

各自それぞれの設問にお答えください。

問 2.あなたの性別を教えてください。

- 1.男性 51.8
- 2.女性 48.2
- 3.その他 0.0

問 3.あなたの学年を教えてください。

- 1年生 17.5
- 2年生 60.5
- 3年生 19.3
- 4年生 2.6

問 4.あなたの出身地を記入してください。

- (北海道地方) 1.8
- (東北地方) 7.9
- (関東地方) 66.7
- (中部地方) 15.8
- (近畿地方) 0.9
- (中国地方) 2.6
- (九州・沖縄地方) 4.4

問 5.あなたは、どれくらいの頻度で飲食店に行きますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

- 1.月に1~3回 2.週1~3回 3.週4~6回 4.ほぼ毎日 5.全く行かない
- 28.1 60.5 7.0 2.6 1.8

問 6.あなたは、誰と飲食店に行くことが多いですか。順番に番号を記入してください。

6.その他を選んだ場合は誰と行くのか記入もしてください。

- 1.同い年・同級生
- 2.異性
- 3.先輩・上司
- 4.後輩
- 5.家族
- 6.その他()

1位 1同い年・同級生	75.4	2位 3先輩・上司	26.5	3位 3先輩・上司	35.4
-------------	------	-----------	------	-----------	------

問 7. 問 6で答えた人の中で、気を使わないで食事ができる人は誰ですか。順番に番号を記入してください。6.その他を選んだ場合は誰と行くのか記入もしてください。

1位 1同い年・同級生	53.6	2位 1同級生・同い年	36.8	3位 3先輩・上司	42.1
-------------	------	-------------	------	-----------	------

問 8.あなたは、大人数で飲食店に行くときに幹事を引き受けることが多いですか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

- よく幹事をやる たまにする あまりしない 全くしない
- 8.8 26.3 37.7 26.3

問 9.日本人が遠慮をすることについてどう思いますか。当てはまるものを全てに○をつけてください。

1. 当たり前だと思う 11.4 2. 日本人らしいと思う 80.7
 3. 自分を出すべきだと思う 14.9 4. 外国人を見習うべきだと思う 7.0

問 10.外国には“遠慮”という概念がありません。それについてどう思いますか。当てはまるものを全てに○をつけてください。

1. 当たり前だと思う 11.6 2. 外国人らしいと思う 83.0
 3. 遠慮すべきだと思う 11.6 4. 日本人を見習うべきだと思う 8.0

問 11.あなたはアルバイトをしていますか。当てはまるものに1つ○をつけてください。

1. している 75.4 2. していない 11.4 3. (以前)していた 13.2

問 12.あなたの家族構成を教えてください。(一人暮らしの人は実家での家族構成を教えてください。)

例) 父、母、姉

93.3

問 13.自分の性格に当てはまるものに1つ○をつけてください。

	5 とても思う	4 やや思う	3 どちらとも言えない	2 あまり思わない	1 全く思わない
他人の顔色を伺う方だ	42.1	39.5	9.6	6.1	2.6
相手に言いにくいことでも率直な表現で伝える方だ	11.4	37.7	24.6	21.1	5.3
会話中の沈黙は気まずいから好きではない	24.6	26.3	21.9	17.5	9.6
自分は人から嫌われたくないと思う	39.5	35.1	11.4	9.6	3.5
自分に対する他者からの評価が気になる方だ	35.1	34.2	16.7	10.5	3.5
自分の行動や言動が相手に失礼でないか考える方だ	42.1	36.8	12.3	8.8	0.0
相手によって自分の態度や立場を変えることができる	38.6	44.7	13.2	2.6	0.9
その場の空気をすぐに読むことができる	21.1	33.3	38.6	6.1	0.9
何かあっても臨機応変に対応できる方だ	15.8	30.7	33.3	16.7	3.5

以下の質問では、自分がそうであると仮定して、その理由を想定して答えてください。

問 14

今あなたは、自分の発言により対人関係が悪化する可能性があるような場にあります。しかし、言いたいことがある状況にあります。

この場にいるとするとあなたはどのように思いますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
相手を傷つけてしまう可能性があるから、自己主張しないと思う	36.8	39.5	15.8	7.0
相手によく思われたいから、自己主張しないと思う	19.3	34.2	29.8	14.9
言いにくい相手だから、自己主張しないと思う	33.3	44.7	12.3	8.8
人間関係を壊したくないから、自己主張しないと思う	34.2	36.8	20.2	7.9
争いをしたくないから、自己主張しないと思う	42.1	34.2	13.2	9.6
空気を察して、自己主張しないと思う	30.7	43.9	14.9	8.8
はっきりさせることで責任を負いかねる可能性があるから、自己主張しないと思う	24.6	39.5	21.9	13.2

問 14-1.あなたならこの場合、自己主張をしますか。当てはまるものに1つ○をつけてください。

- 1.自己主張をしますと思う 38.6 2.自己主張をしないと思う 60.5

問 14-2. あなたは過去に自己主張をしてトラブルになったことがありますか。当てはまるものに1つ○をつけてください。

- 1.ある 56.1 2.ない 28.1 3.経験がない 15.8

問 14-3.他者からあなたにはつきりと自己主張をされた時どう思いますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

- 1.悲しくなる 17.5 2.イライラする 38.6 3.うれしく思う 15.8
4.当然だと思う 48.2
5.その他() 10.5

問 15.

今あなたは、つまらない話を長々と続ける相手に対してその話を聞いてあげている場にあります。しかし、興味が無いのに話を聞かなければいけない状況です。

この場にいるとするとあなたはどのように思いますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
相手を傷つけてしまう可能性があるから、興味深く聞くとと思う	18.4	38.6	30.7	10.5
相手によく思われたいから、興味深く聞く	12.3	23.7	48.2	14.0
言いにくい相手だから、興味深く聞くと思う	16.7	37.7	32.5	11.4
人間関係を壊したくないから、興味深く聞くと思う	17.5	41.2	25.4	14.0
争いをしたくないから、興味深く聞くと思う	14.9	37.7	32.5	13.2
空気を察して、興味深く聞くと思う	21.9	43.9	22.8	9.6
はっきりさせることで責任を負いかねる可能性があるから、興味深く聞くと思う	13.2	24.6	42.1	18.4

問 15-1.あなたならこの場合、興味がないのに相手の話を聞くと聞かぬか。当てはまるものに1つ○をつけてください。

- 1.聞くと思う 64.9 2.聞かぬと思う 34.2

問 15-2.あなたは過去に興味がないのに相手の話を聞いた経験がありますか。当てはまるものに1つ○をつけてください。(※授業は除く)

- 1.ある 89.5 2.ない 7.0 3.経験がない 3.5

問 15-3.つまらない話を聞いてあげている他者を見た時どう思いますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

- 1.失礼だと思う 5.3 2.イライラする 11.5 3.かわいそうだと思う 50.4
4.当然だと思う 24.8 5.その他() 20.4

問 16.

今あなたは、話し合いをしている状況にいて、その人に協調をする空気がなっています。しかし、あなたは反対意見を持っています。

この場にいるとするとあなたははどう思いますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
相手を傷つけてしまう可能性があるから、協調すると思う	20.2	32.5	32.5	13.2
相手によく思われたいから、協調すると思う	14.9	29.8	35.1	18.4
言いにくい相手だから、協調すると思う	22.8	37.7	20.2	16.7
人間関係を壊したくないから、協調すると思う	23.7	36.8	19.3	18.4
争いをしたくないから、協調すると思う	26.3	35.1	23.7	13.2
空気を察して、協調すると思う	24.6	37.7	26.3	9.6
はっきりさせることで責任を負いかねる可能性があるから、協調すると思う	23.7	27.2	29.8	17.5

問 16-1.あなたならこの場合、相手と反対意見を持っていてもその人に協調をすると思いますか。当てはまるものに1つ○をつけてください。

1. 協調すると思う 51.8 2. 協調をしないと思う 46.5

問 16-2.あなたなら過去に反対意見を持っているのに他人に協調をしたことはありますか。当てはまるものに1つ○をつけてください。

1. したことがある 72.8 2. したことがない 16.7 3. 経験がない 9.6

問 16-3.他者があなたに反対意見を持っているのに協調したことを知ったらどう思いますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

1. 悲しくなる 30.3 2. イライラする 30.3 3. うれしく思う 11.9
4. 当然だと思ふ 18.3
5. その他()20.2

問 17.

今あなたは、嫌いな相手といます。しかしその相手といる時に、自分の本心が伝わらなければいいなと思っっています。

この場にいるとするとあなたははどう思いますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
相手を傷つけてしまう可能性があるから、伝わらないように思う	32.5	29.8	22.8	13.2
相手によく思われたいから、伝わらないように思う	18.4	24.6	30.7	24.6
言いにくい相手だから、伝わらないように思う	25.4	26.3	28.9	17.5
人間関係を壊したくないから、伝わらないように思う	23.7	30.7	22.8	21.1
争いをしたくないから、伝わらないように思う	30.7	35.1	15.8	15.8
空気を察して、伝わらないように思う	28.1	34.2	22.8	13.2
はっきりさせることで責任を負いかねる可能性があるから、伝わらないように思う	20.2	28.9	33.3	15.8

問 17-1.あなたならこの場合、相手に自分の本心は伝わらないよう思うことが多いと思いますか。当てはまるものに1つ○をつけてください。

1. 伝わらないように思う 66.7 2. 伝わらないようにしないと思う 32.5

問 17-2.あなたは過去に嫌いな相手と付き合うときに自分の本心をどのようにしましたか。当てはまるものに1つ○をつけてください。

1. 臆骨に伝えるようにしたことがある 15.8
2. それとなく伝わるようにしたことがある 42.1
3. 普段と変わらず伝わらないようにしたことがある 36.8
4. そういう経験がない 4.4

問 17-3.あなたのことを好いていない他者が、本音を語ってくれなかったらどう思いますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

1. 悲しくなると思う 20.2 2. 仕方がないと思う 57.0
3. 表情や態度で分かるようにしてほしいと思う 16.7
4. はっきり分かるよう伝えてほしいと思う 28.1 5. その他()8.8